

年 度 評 価 シ ー ト ( 令 和 4 年 度 )

課名 障害福祉企画課

施設の名称 静岡市桜の園 (身体障害者福祉施設) 静岡市桜の園 (重度障害者生活訓練ホーム) 静岡市桜の園城北館	指定管理者名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 静岡県済生会
---	-------------------------------------

1 履行状況

業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。

(1) 維持管理業務

①健康管理

- ・血液検査、尿検査、胸部レントゲン検査等の実施により、利用者の健康管理が適正に行われている。

②危機管理、防災対策

- ・防災マニュアルに則り、年間を通じて地域等と連携し、計画的に訓練等を実施し利用者の安全確保に努めた。
- ・防災訓練は様々な事態を想定した内容の訓練が行われており、適切な活動となっている。
- ・防犯カメラの設置を行い、安心できる環境を整えた。

③建物・設備等の保守管理業務

- ・建物や設備の保守管理は第三者委託により実施し、各業務とも適切に行われている。
- ・各種定期点検を実施し、不具合等が確認された場合、速やかに修繕等の措置が取られた。

(2) 施設利用者数

ア 桜の園 (身体障害者福祉施設)、桜の園 (重度障害者生活訓練ホーム)

施設種別	定員	1日平均利用者数 ※ ( ) は前年度実績	年間延べ所在者数 ※ ( ) は前年度実績
施設入所支援	50	49.1 (49.3) 人	17,907 (17,969) 人
生活介護	50	49.1 (49.4) 人	12,808 (12,889) 人
生活介護 (通所)	30	19.6 (18.1) 人	4,745 (4,340) 人
短期入所	5	3.2 (2.9) 人	1,137 (1,036) 人
日中一時支援	—	0 (0) 人	0 (0) 人

施設入所支援、生活介護及び短期入所について、事業計画上の目標 (施設入所支援 : 49.5 人、生活介護 : 24 人、短期入所 4 人) を達成できなかった。新型コロナウイルスの影響も少なからずあるが、コロナ以外にも要因は考えられるため、利用者数の増加に向け、市と指定管理者で協議をしていく必要がある。

イ 静岡市桜の園城北館

施設種別	定員	1日平均利用者数 ※（ ）は前年度実績	年間のべ所在者数 ※（ ）は前年度実績
生活介護	20人	12.6 (13.0)人	3,057 (3,144)人

目標（14.5人）は未達成となっている。新型コロナウイルス感染症の影響以外にも要因は考えられるため、利用者数の増加に向け、市と指定管理者で協議をしていく必要がある。

(3) 事業実施状況

①施設運営関係

- ・利用者の施設利用等に係る各種手続きが適正に行われた。
- ・広報誌を昨年同様3回に発行し、ホームページ及びインスタグラムの更新を積極的に行い情報発信に努めている。
- ・職員研修実施により、専門的知識及び技能の習得、職員の資質向上に努めた。
- ・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となった事業はあったが、身体障害者福祉施設及び重度障害者生活訓練ホームにおいては、昨年度同様に規模を縮小しながらも秋桜祭を開催するとともに、3年ぶりに開催された桜ウォーク、大茶会などの地域の行事に参加し、地域との交流を深めた。
- ・実習生やボランティアの受入れを行い、人材の確保に努めるとともに、法人や施設の魅力を発信した。

②利用者支援関係

- ・法人内の病院と連携し、利用者には新型コロナウイルスのワクチン接種を行った。
- ・コロナ禍において地域や家族との交流が制限される中、施設内の行事を増やし、行事の写真や作品を展示するなど、利用者が日々の生活に潤いを感じられるような環境づくりに努めた。
- ・令和4年度は、身体障害者福祉施設及び重度障害者生活訓練ホームにおいて、市によるホール天井及び浴室の改修があり、利用者の負担が大きかったが、一人一人の声をよく聞き、丁寧な支援を行った。
- ・身体障害者福祉施設及び重度障害者生活訓練ホームにおける食事の提供については、利用者のリクエストや全国のご当地メニューなどによりバリエーションを増やすとともに、事前にメニューの写真を掲示するなどの工夫を行っている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望については随時受け付けている。苦情については法人の苦情取扱要綱に基づいて対応しており、重要な案件については法人が設置している第三者委員会へ報告し、協議することとしている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 市民アンケート

本施設は、身体障がいのある人が、入所及び通所する施設であるため、利用者が限定されており、広く市民一般を対象としたアンケートは実施していない。

## (2) 利用者満足度調査

施設利用者及び利用者の家族に対して年1回満足度調査を行っている。各施設の満足度については、身体障害者福祉施設は68.2%、重度障害者生活訓練ホームは94.1%、城北館は97.3%であった。身体障害者福祉施設については、ホール天井及び浴室の改修工事が利用者の満足度が低下の主な要因であると考えられる。引き続き、利用者に対し、より高い満足度が得られるよう、アンケート結果を踏まえ、職員一丸となって利用者のニーズに寄り添った支援検討を重ねていただきたい。

## 4 指定管理者の経理状況の評価

身体障害者福祉施設及び重度障害者生活訓練ホームについては、入所者の長期入院により入所利用者数は若干減少したが、短期入所及び通所利用者数は増加したことにより、収入額は増加している。しかし、昨年度大幅に増加した人件費はさらに増加し、事業費については物価高騰の影響により増加となっている。物価高騰に対しては市からの補填があったものの、収支は赤字である。通所及び短期入所の利用者数は増加しているものの目標を達成していない状況であることから、更なる利用者数の増加への取組みを図るとともに、人件費の増加要因の分析をするなど支出の減少に努められたい。

城北館については、支出は増加しているものの、収入額も増加したことにより、収支は黒字となっている。利用者数は目標を達成していない状況であるため、利用者数の増加への取組みを進められたい。

## 5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

施設全体の運営は、適切な業務委託のもと、概ね事業計画通り実施されており、施設の保守・点検等も、必要な維持管理が適宜なされている。

新型コロナウイルス感染症対策は適切に行われている。コロナ対策により外部との交流が制限される中、利用者が満足して利用できるよう工夫した事業が行われている。利用者満足度調査においても良好な結果が得られており、さらに利用者の満足度を高めるよう職員一丸となった支援検討を重ねていただきたい。

収支状況について、身体障害者福祉施設及び重度障害者生活訓練ホームにおいては、令和3年度に引き続き赤字となっている。安定した経営を目指すため、課題である利用者増について取り組むのはもちろんのこと、支出増の要因を分析し、経費の削減についても進められたい。

今後も利用者数の増加に向け市と協議を行うとともに、良好な施設運営を維持していくよう努めていくこと。